

第3回日本応用地質学会表彰への応募のお願い（募集、締切期限延長）

総務委員会

本学会では2019年に「日本応用地質学会表彰」を創設し、これまでに2回の表彰をおこなってきました（別紙）。第3回日本応用地質学会表彰として、下記のとおり候補者を募集しております。会員各位の皆様におかれましては、この賞にふさわしい候補者をご推薦いただきたいと思います。

記

1. 対象者:会員・非会員を問いません。添付資料にある表彰対象(技術開発, 事業・業務, 普及・啓発, その他)にふさわしいと思われる方をご推薦願います。
2. **申し込み期限:2023年3月31日事務局必着。**
3. 申し込み先:添付の推薦書(様式1~3)に必要な事項を記入の上, 事務局まで送付願います。
4. 審査:総務委員会において内容確認後, 理事会で審議いたします。
5. 結果のご連絡:総務委員会より審議結果をご連絡いたします。
6. 表彰式:原則として日本応用地質学会定時社員総会後に行います。
7. その他:表彰者には表彰状, 記念品を授与するとともに, 非会員の表彰式参列者(3名程度まで)の交通費等を支弁致します。

(参考)

一般社団法人日本応用地質学会 名誉会員選考及び表彰規程

令和元年6月21日改定

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本応用地質学会（以降、この法人という）の名誉会員並びに日本応用地質学会論文賞（以降、論文賞と略す）、日本応用地質学会功績賞（以降、功績賞と略す）、日本応用地質学会表彰（以降、学会表彰と略す）及び日本応用地質学会永年会員表彰（以降、永年会員表彰と略す）の選考に適用する。

<略>

⑤学会表彰は、応用地質学の分野における、技術開発・教育・普及における著しい功績が認められる個人および団体（非会員を含む）を、不定期に表彰する。

<略>

(学会表彰の審査)

第9条 学会表彰は会員による自薦または他薦により所定の様式で応募された候補について、総務委員会で書類審査を行う。

②書類審査に欠席する総務委員は、審議事項に関して意見書を付すものとする。

③総務委員会は、書類審査の結果、学会表彰候補として適正であると認められたものについて調書を作成し、理事会に提出する。

④理事会は、推薦書と総務委員会より送付された調書をもとに学会表彰の可否について審議する。

⑤学会表彰候補者に総務委員、理事が含まれる場合は、当該候補の書類審査並びに理事会決議に加わることはできない。

以上

(別紙)

これまでの日本応用地質学会表彰受賞者

第1回日本応用地質学会表彰（2020年1月19日 第9回理事会にて決定）

- ・高嶋哲夫氏（小説家）

受賞対象：自然災害に関する小説を通じた一般市民の防災意識の啓発に対して

- ・こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

受賞対象：天文・気象・地質・環境・防災に関する実験や展示による子どもたちに地学への興味・関心を高めてもらうための長年の継続的な活動「こどものためのジオ・カーニバル」に対して

- ・学校法人 AICJ 鷗州学園 AICJ 中学・高等学校

受賞対象：広島土砂災害を契機に、一般市民の防災意識を高めることを目的とした防災絵本絵本「にげて！」の生徒と教諭が一体となった作成に対して

第2回日本応用地質学会表彰（2021年8月2日 第3回理事会にて決定）

- ・竹村公太郎氏（執筆家）

受賞対象：自然災害・応用地形に関する執筆・講演を通じた一般市民の防災意識の啓発に対して

- ・阿蘇火山博物館

受賞対象：博物館の役割を通じた火山防災をはじめとした防災意識向上・環境保全などの普及・啓発活動の展開に対して